



関西一円に営業所を展開し新建材、住宅設備機器の販売を手がける株式会社丸産業は、本日6月21日に設立60年の節目を迎えた。

住まいづくりを通じて「地域社会への貢献」を目指す当社の60年の歩みと、これからの展望について、代表取締役社長の丸敏幸氏にお話を伺った。

### ——これまでの歩みと、経営の支えとなった企業理念、経営の信条についてお聞かせ下さい

当社の設立は1963年です。当時の住宅は無垢材や漆喰を用いた在来工法による木造住宅で、軽量鉄骨住宅がなかった時代です。高度経済成長の真っただ中で、住宅需要が爆発的に増加しました。当時は住宅建材の開発や品質の向上も目覚ましく、水周りを中心に、樹脂やアルミを使用した画期的な製品（新建材）が世に出始めました。会社設立の1年前、62年4月には同業者に先んじて大阪市内で新建材の販売を開始し、高度経済成長と新建材の普及拡大という追い風もあり、順調に営業網を拡大させることができました。

この礎となったのが経営理念、経営の信条です。当社の経営理念は「和」です。「和」という言葉は、孟子の言葉「天の時、地の利に如かず、地の利は人の和に如かず」から来ています。人の団結こそが何ものにも勝るといえることです。また、丸産業という社名は創業家の名字を冠したのですが、「丸」という字には物事を丸く収める、調和という意味があります。新入社員をはじめ従業員には、「和」という言葉を大切にしてもらいたく、機会があれば経営理念についての話をしています。

バブル経済の崩壊やリーマン・ショックによる長年の経済不況が続いても、営業所を維持しながら長年生き残ってこられたのは、こうした理念、信条を礎とした経営を行ってきたからであると思います。

### ——御社の考える「地域社会への貢献」とはどのようなもののでしょうか？

もともと丸家は奈良県川上村で林業を生業としてきました。また、63年には奈良県吉野町で製材業を開始し、環境に優しく、省エネな住宅建材を提供してきました。環境保全や省エネを通じて社会に貢献していることは、SDGs（持続可能な開発目標）の観点にも合致しています。

住宅は時代とともに変化しています。人が利便性や快適性を求めることは、一方では環境破壊につながります。住環境の快適性を向上させながら、常に最新の省エネで環境に優しい住宅建材や住宅設備機器を安定的に供給していくことが社会貢献につながり、当社の社会的な使命であると認識しています。

また、誠実に商売をすることで、仕入れ先様や得意先様のみならず、施主様にも信用・信頼していただける会社になります。我々の規模なりに、

求められていることに対し誠実に応えていくことで、当社従業員も安心して仕事ができるようになり、同時に地域社会に貢献できる会社に成長していくのではないかと考えています。

### ——長らくの経営の中で苦境はありませんでしたか？

設立当初から順調に商売をさせていただいていた弊社も、バブルの崩壊やリーマン・ショックによる業績悪化とは無縁ではなく、しんどい時もありました。私が代表に就任したのが2006年8月で、就任後間もなく米国のサブプライムローン危機や、リーマン・ショックに起因する急速な景気後退に伴い、当社の業績も少なからず影響を受けました。

社長交代に際しては、先代と経営方針をめぐりぶつかることも多少ありましたが、私が就任して1年経たずに亡くなりました。代表交代直後に先代の死去と業績の悪化が重なり、自分の未熟さ故の判断もあって、しばしば古参社員とも衝突しましたが、そういう経験を踏まえながら、当社の経営理念、経営の信条について自分なりに考え、対処することで徐々に古参社員からも理解を得られるようになりました。

先代の時には当時の専務が経営をサポートしていましたが、私は兄である副社長と二人三脚で歩いていくことで、何ものにも代えがたい信頼関係が構築されており、苦境にも強い経営体制になっていると思います。

### ——永続的な経営を見据えた今後の展望をどのようにお考えですか？

我々の業界には数多くの企業があり、全国規模の会社もあれば、地域に限定した会社もあります。また、各都道府県には、その地域内で代表となる強い会社が存在します。そういった会社と“協調”しながら“競争”し、お互いが切磋琢磨して強くなっていく。そうすることで業界をどんどん盛り上げ、活性化させていきたいですし、その中心的な存在でありたいです。

当社が信念を持って継続している取り組みとして「展示会」があります。春の「丸産業すまい展」秋の「住設建材まつり」を中心に、1976年から開催してきました。以前は当社以外にも多くの販売店が大小さまざまな形で展示会を開催してしま

たが、現状、数十社の建材メーカー様・商社様から協賛・バックアップをいただき、一定の規模で「展示会」を開催し続けている間屋は、関西においては当社のみとなっています。

当社にとって「展示会」というのは、単にモノを販売する場、売り上げを伸ばすためのツールとしてだけではなく、メーカー様、販売店様、施工業者様をはじめ、建材業界・住宅業界に携わる人々の関係構築の場と考えています。そうした場を提供させていただくことにより、業界全体の発展につながればこの上ない幸せです。

今、この業界では人材面、物流面をはじめ、さまざまな問題が顕著になりつつありますが、業界としての課題を一緒になって解決していく姿勢や、互いの強みを生かし、弱点を補いあえる関係作りが今後一層重要なものになると思われます。そうした役割を、当社が中心となって担えるようになりたいと常に考えています。

また、当社は4つの「わ」を事業推進の力としています。経営理念である「和」を当社の心とすれば、事業展開を可能にする力は「輪」です。地域密着の営業活動で広がった営業網は、得意先様の信頼の証です。時代と環境の変化に対応するマーチャンダイジングの「環」をモットーに商品を厳選して取りそろえています。これらを通じて、住まいづくりに携わる全ての方々とのコミュニケーションの「話」を大切にする。この4つの「わ」を深化させ、推進していくことで、地域になくてはならない企業であり続けたいと思います。

#### 丸 敏幸氏 プロフィール

1969年奈良県生まれ。92年3月に近畿大学商学部卒業後、家業である林業に従事。97年1月に丸産業へ入社し2000年8月に取締役就任、2006年8月に代表取締役社長に就任した。

#### 会社概要

##### 株式会社丸産業

TDB企業コード：510315787

法人番号：6150001015803

所在地：奈良県橿原市曾我町32-2

設立：1963年7月

年売上高：約200億1800万円（2021年6月期）

<https://www.marusangyou.co.jp/>